グリフィンズだより八幡山新聞　2020年　第11号　ー試合結果解説ー

＜2020年度関東学生アメリカンフットボールリーグTOP8開幕戦＞

日時：10月11日(日)
時間：15時KO、キックオフ
場所：アミノバイタルフィールド(東京都調布市)　　無観客試合
対戦：明治大学グリフィンズ　vs　立教大学ラッシャーズ
結果：終了 21-13　（1Q 7-0、2Q 7-3、3Q 7-0、4Q 0-10）

＜フィールド・レポート＞

2020年度のグリフィンズ公式戦初戦は明治大学グリフィンズのK＃3埒見拓也(4年・明治学院)キックオフで開幕。
前半1Q1シリーズ目、立教大学ラッシャーズの4thダウンのパントは短く、グリフィンズは敵陣30ヤードで攻撃のチャンスを得る。QB＃4西本晟(4年・箕面自由学園)からWR＃11嘉本健太郎(4年・箕面自由学園)へのパスでゴールまで残り1ヤードまで進むと、最後はRB＃6森川竜偉(2年・佼成学園)の1ヤードTDランで先制。グリフィンズは第2QにQB＃4西本晟からTE＃87大島則也(3年・佼成学園)へのパスでTDを獲得すると、ラッシャーズは敵陣35ヤードからのFGを成功させ、3点を返す。そのまま両チームは攻守交代を繰り返し、14-3とグリフィンズがリードで前半を折り返した。
ディフェンス陣は、LB＃40久松遼平(4年・関西大倉)がパスカット。DL＃9佐々木友也(4年・駒場学園)が好タックルを繰り出した。

後半3Qは、グリフィンズの攻撃シリーズで、スペシャル・トリックプレー「フリーフリッカー（flea flicker）」をだす。QB＃4西本からWR＃11嘉本へのピッチパスから、QB＃4西本にボールを戻し、WR＃7川原田拓実(4年・明大中野八王子)へのパスでTDを獲得し、点差を広げる。グリフィンズはその後もRB＃29山田大葵（4年・関西大倉）を筆頭にRB陣が活躍するも、ゴール間近でのギャンブルをラッシャーズにインターセプトされて得点ならず。
4Qは、グリフィンズは、QB＃8櫻井太智(3年・佼成学園)に交代。WR＃12デコウト大貴(2年・ネルソンカレッジNZ)、WR＃15山口翔(1年・箕面自由学園)や、RB＃22保坂洸稀(3年・都立戸山)ら新戦力を投入。ラッシャーズはパスを中心とした攻撃で敵陣に入るが、グリフィンズのディフェンスに拒まれる。
しかし、雨が強くなって、ミスもあり、ラッシャーズにTDとPATも決められ11点差に詰め寄られる。その後、FG成功され8点差になる。さらに、直後のキックオフでオンサイドキックを試みるが、グリフィンズがボールを確保。グリフィンズは、ランで時間を潰し、グリフィンズが21-13で勝利した。
ディフェンス陣は、DB＃23村田幹太(3年・駒場学園)とLB#21比留間豊(3年・佼成学園)が、好タックルを連発した。

※用語解説：「フリーフリッカー（flea flicker）」は、犬が体に付いた蚤（flea）を慌てて足で弾き飛ばす（flick）様子をイメージしたトリックプレー。

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンズ父母会　発行日：2020年10月14日　発行責任者：山田小百合　編集：西本昭二